

JA KING
さの

龍

皆様のご健康
もご多幸を心より
お祈り申し上げます

謹賀新年



Happy new year 2024



JA 木野

木野農業協同組合

Contents

- 2 — 代表理事組合長新年のごあいさつ
- 3 — 北海道農業協同組合中央会会長ごあいさつ
- 4 — 辰年のみなさんに今年の抱負を頂きました
- 5 — 第48回JA十勝青年部大会
女性部研修旅行
- 6 — 十勝川治水百年特集
- 7 — お楽しみクロスワードパズル
理事会の動き
- 8 — 無印良品オープンのご紹介
編集後記

1 January 2024
No.404



新年にあたり 代表理事組合長 黒田 浩光

新年あけましておめでと〜ございます。組合員の皆様とJA役職員、ハピオ社員並びに地域の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より当JAの事業運営にご理解ご協力を賜りこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

昨年、新型コロナウイルスによる規制も解除され人の流れも少しずつ戻り経済も緩やかに戻ってきました。しかし、未だ続くロシアによるウクライナ侵攻が及ぼす物流の停滞、肥料価格の高止まり、円安による農業資材・機材の高騰と我々農業界にも甚大な影響を及ぼしています。

当JAでは、安心・安全・信頼をモットーに農畜産物を皆様のご家庭にお届けすることを第一とし関係機関の皆様のご協力、ご助言を頂きながら、もとより農畜産物と生活を豊かに出来るように努力しているところです。

昨年11月に無印良品ハピオ木野がオープンし大勢の方が音更・木野に足を運んで頂く機会が増えたと思います。今まで、ハピオや木野の森珈琲店に寄ったことが無いお客様

にも足を運んで頂くことにより新鮮な農畜産物を手に取り実感しお買い物の楽しさを感じて頂けたのではないかと思います。また、よりJAを身近な存在に感じて頂けるチャンスととらえています。

昨年の気候は、前例に無い程の高温が続き災害級の猛暑に見舞われました。また、長雨は無かったものの激しい降雨が頻繁に見られ異常気象と言える一年でした。

そのような天候の中、秋まき小麦は、粗原11.5俵、製品10.9俵、製品歩留まりは94.6%となり高品質多収となりました。馬鈴薯は生食用47.2俵、加工用68.4俵、澱原93俵と平年を上回る結果となりました。

豆類は、開花、成熟共に大幅に早まりました。小豆においては過去に経験が無い程「莢先熟」の傾向が著しく、更には「青莢」による収穫作業の遅れもあり、反収は3.8俵となりました。また、大豆については5.6俵となりましたが「しわ粒」「斑点病」等の影響で品質面においては例年より劣る結果となりました。

金時については、3.3俵で品質

収量とも良好な結果となりました。甜菜は褐斑病が多くみられ反収7.1t、糖分12.8%（令和5年12月3日現在）となりました。

青果においても、高温障害や成熟が前例に無い程早く進み過熟になるなど大変苦労する年となりました。

ブロッコリーは、軟腐病、黒すす病の発生により打撃を受け出荷量は前年比73.3%の932t、販売高も前年比78.5%の4億5千万円と大変厳しい結果となりました。

木野シャイニングコーン（ホワイトコーン）については、242t、7千1百万円（126.3%）となり一定の成果を上げることが出来ました。

また、長ネギは比較的堅調な相場で推移し396t、1億5千万円（109.9%）の販売となりました。

酪農・畜産においては、生乳の生産調整や個体価格の下落、さらには飼料価格の高騰と組合員の経営は深刻な打撃を受けています。

コントラ事業については、馬鈴薯46ha、大豆87ha、ドローンによる農業散布は70haの実績となりました。

昨年、試験的に取り組みを始め

たさつまいもの育苗と栽培も順調に進みました。本年も試験を続けながら組合員の皆様を取り組める作物として確立出来るように努めてまいります。

（株）ハピオについて燃料事業は、燃油高騰対策費の補助もあり堅調に推移、木野の森珈琲店・ハピオ生活店舗は無印良品との相乗効果もあり一定の集客を確保しています。

不動産事業については、ウッドショック、地価相場の上昇など不動産売買の動きが鈍化するなど苦戦していますが、賃貸管理を強化し営業範囲の拡充に努めています。

新年度を迎え、当JAとしては組合員の皆様が安心して営農・生活をして頂けるように「10年ビジョン」の前期5か年計画をもとに順次、農産施設の修繕・更新・増強と提案させて頂きます。

結びになりますが、本年も農協ハピオ事業に対するご理解と協力を賜りますことをお願い申し上げます。また、組合員の皆様方にとって、多幸で災害がなく、天候に恵まれた実り多い年となりますよう心からご祈念申し上げ新年のご挨拶と致します。

代表理事組合長 黒田 浩光

常務理事 黒田 浩光

副組合長 大西 勉

理事 前田 和宏

理事 林 秀樹

理事 春日 輝之

理事 辻野 宏明

理事 江崎 泰嘉

理事 波佐 康弘

理事 西川 万蔵

理事 宮野 文利

代表理事 谷口 善一

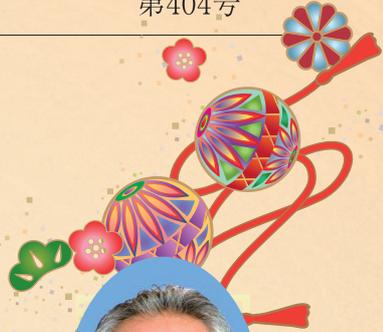
常勤監事 高橋 敏

監事 畔木 幸一

管理部長兼務監査室長 高橋 尚寛

営農部長（農畜産資材担当）清水 善教

営農部長（青果・センター担当）光澤 啓幸



令和六年の年頭にあたり 北海道農業協同組合中央会 代表理事会長 樽井 功

地区農事組合長

迎春

然別 清都 修一

南大和 酒井 憲幸

鈴蘭 馬淵 圭佑

開進 土井 憲

宝来 宮田 雄一

北宝来 中村 敏弘

富丘 石王 勝三

相生 堀田 一男

旭 貞広 渉

東旭 棚橋 友明

長流枝 細野 貴弘

栄 高田 満英

北進 鈴木 雄二

春日 松尾 光博

桜田 広瀬 裕樹

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられること存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先は天候に恵まれ地域によって降雹被害や竜巻の被害が見られたものの、概ね、平年並みに推移しております。しかしながら夏場は猛暑による記録的な高温多湿の影響を大きく受け、各作物の生育自体は、全般的に平年よりも早く進んできましたが、各作物等の収量および品質の低下が顕著となる残念な年でした。

新型コロナウイルス感染症の位置付けは昨年5月より5類に移行し、コロナ禍以前の日常を取り

戻しつつありますが、各農畜産物の消費は依然として低迷しており、さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大なものとなっております。

さらにこれらの影響を受け、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっております。

現在、日本の食料自給率は38%しかありません。

これは、世界の先進国の中で最低の水準であり、6割以上の食糧物を輸入に頼っているのが日本の現状です。

食料安全保障の強化が国家の喫緊の課題であることから、我が

国の食料供給基地である北海道農業が果たしてきた役割、そして北海道農業への期待は、今後ますます大きくなるものと考えております。

J Aグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組むことが重要であり、国民の命の源である食を守り続けるにも、まさに新しい農業を築き、未来の世代へ繋いでいく必要があります。行政や全国連とも連携し、しっかりとその対応を図って参ります。

今年、第31回J A北海道大会が開催されます。

また、第30回J A北海道大会の実践最終年度であり、決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の成果をしっかりと検証し、次のJ A北海道大会に繋げ

ていく必要があります。このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越えることが重要となります。

消費者の皆様に対しては、今以上に農業・食に対する理解を求めため、J Aグループ北海道統一の情報発信のフレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させ、より効果的な情報発信を行い、J Aグループが提唱する「国産産」の認知を広めて参りましょう。

結びになりますが、本年は辰年です。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。

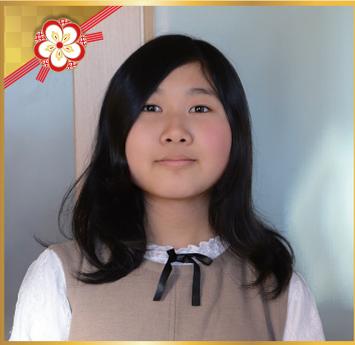
この謂われにあやかり、本年が豊穰の年となること、皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



●右から
すずき ひでこ はると
◆鈴木 秀子さん ◆晴翔さん 相生地区
明けましておめでとうございます。今年も夫婦ふたり健康で
良くすごしたいです。孫の成長を楽しみにしています。(秀子さん)
野球もスキーもがんばりたいです。(晴翔さん)



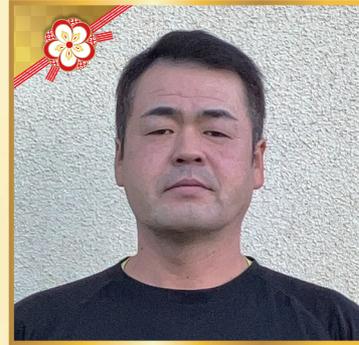
しんの なおゆき
◆真野 直行さん 然別地区
あけましておめでとうございます。還暦を
迎え、これからは仕事もやりつつ、健康に気
を付けながら日々余裕のある生活を送って
いきたいと思います。



なかじま ゆきな
◆中島 千奈さん 北進地区
新年明けましておめでとうございます。私の今年の目標は、北海道学
力コンクールで100点を取ることで
す。コンクールに向けて体調に気を
配りながら一生懸命頑張ります。趣
味は絵を描くことです。今年もいい
年になりますように！



まえだ てるよし
◆前田 晃良さん 然別地区
新年明けましておめでとうございます。2024年は辰年なので、ま
さに龍のように飛躍の年にしてい
きたいです。また個人的にはどう
いう1年になるのか想像できない
ので、怪我なく健康に過ごしてい
きたいと思います。



さだひろ わたる
◆貞広 渉さん 旭地区
新年明けましておめでとうございます。なんだか年男らしいです
が、良い年になる事を願うばかりで
す。子供達の部活動観戦等、楽し
みながら、仕事にも励んで参りたい
と思います。組合員の皆様のご多
幸とご健勝を祈願いたしまして、一
言とします。頑張ろう！



あけましておめでとうございます。時が**タツ**のは早いものですね。
今年**辰**年、24歳になる年です(願望)。

- ① ゆまぬ努力で
- ② らい事にもめげずに
- ③ んな事にも挑戦し
- ④ っかり休んでしっかり遊ぶ 1年にしたいです。

- 左から
- ◆平野 悠介さん(ひらの ゆうすけ) 金融部 金融課
 - ◆小林 寛子さん(こばやし ひろこ) 金融部 金融課
 - ◆内田 冬貴さん(うちだ ふゆき) 金融部 金融課
 - ◆小野寺真樹さん(おのでら まき) 営農部 青果課
 - ◆山下 侑也さん(やました ゆうや) 営農部 青果課

辰年のみなさんに
今年の抱負を頂きました。

笑う門には
福来たる
辰

青年部

第48回JA十勝青年部大会



懇親会でのアームレスリング大会

11月27日、ホテル日航ノースランド帯広にて、第48回JA十勝青年部大会が開催され、当JA青年部から部員12名が参加しました。

大会では、十勝管内23単組の『動画で発信！農の魅力』コンテストが開催されました。今回は、不法投棄と食育をテーマにした動画を何度も話し合いを重ねながら作成し、他の単組とは違う視点から消費者、審査員に対して積極的にPRを行いました。

大会終了後の懇親会では、アームレスリング大会が開催され、当JA青年部を代表して北進地区の常見雅之部長が参加しました。常見部長は、10年以上続くアームレスリング大会で初となる決勝進出の快進撃を見せ、結果は準優勝でしたが会場を大いに盛り上げました。

女性部

4年ぶりに開催できました!

女性部研修旅行



11月27日から30日までの日程で研修旅行が行われ、15名の女性部員が沖縄へ向かいました。

初日で移動し、2日目は古宇利大橋・ビーチで風景とお買い物を満喫した後、オリオンビール工場を見学し、新鮮なビールの試飲を楽しみました。昼食後に名護パイナップルパークを散策し、期待していた「美ら海水族館」で大きなジンベイザメなどを見学してきました。夕食は、エイサー演舞や琉球舞踊の伝統芸能を観覧する「海人パーティー」に参加しました。獲れたての新鮮な魚介を目の前で調理して提供される海人バーベキューを堪能し、沖縄でしか味わえない貴重な体験ができました。3日目は断崖景勝地の万座毛で眺望を望み、北谷町のアメリカンビレッジ、那覇市の首里城、瀬長島ウミカジテラスと沖縄の名所に足を運びまし



た。首里城は2019年10月31日の火災で正殿を含む9つの施設が焼損してしまい、現在は復興にむけて修復作業が進められていました。

最終日はおきなわワールドで革細工制作体験を行いました。自分の好きな形を選び、その革に好きなデザインを刻印し、自分だけのオリジナルキーホルダーを作りました。部員からは、「まだ作りたい」など終わりを惜しむ声が聞こえるなか、全員が世界で一つだけのキーホルダーを手に素敵な時間を過ごしました。

4年ぶりの研修旅行は参加者全員が楽しんでいる様子でした。天候にも恵まれ、たくさんのお土産と思い出を持ち帰ることができました。





十勝川治水百年特集

(音更・木野・士幌・上士幌編)

十勝川の治水事業が百年を迎えました

十勝川流域では明治時代から入植者による開拓が始まっていましたが、当時の十勝川は曲がりくねっていて洪水被害を受けやすい地形でした。

そこで、開拓の中心地域である茂岩から西帯広までの延長56kmにも及ぶ区間に堤防、新水路掘削、護岸工事を実施するための計画が立てられました。大正12年、十勝川治水事務所が開設（現在の帯広市大通南1丁目）され、本格的な治水事業が開始されました。



十勝川治水事務所（昭和2年頃）

地域の礎を築いた開拓者 農業と川のかかわり



明治30年頃の然別村 渡辺牧場※1



十勝頭首工

十勝北部から十勝川に合流する河川には音更川、士幌川、然別川等があり、明治期この谷川に多くの入植者が集まり、現在の音更町、士幌町、上士幌町の礎が築かれました。

入植した当初はイナキビ、ソバ、野菜類を播いて自分たちの食糧とし、余剰が出ると豆類を育て販売しました。農業の労働力として重要な馬を飼養するため、各原野では牧場経営が進み、然別太では明治22年晩成社の渡辺勝が牛馬を飼い始めました。一方で、明治35年冷害暴風による凶作、明治40年豪雨冠水といった災害が続き、治水事業と並行して農業基盤整備が必要になってきました。大正期に音更川、士幌川でかんがい溝工事、昭和38年に士幌新橋下流に十勝頭首工が完成しました。こうして河川の安定化と土地改良の成果は、十勝有数の酪農畜産、畑作地帯を形作って現在に至ります。

あのときのおもいで

然別川 地域総出で堤防守った「木流し」

- (中谷) 一番初めに思い出すのは、小学生の頃かな、然別川の国見橋下流の堤防が破れて、家の前や畑に広く水が流れたことがあった。
- (畔木) 今ほど堤防高くないからね。その水はずっと抜けずに冬には一面が凍ってスケートで遊んでいた。
- (中谷) 住宅の裏に流れていた昔の古川があって、雨が降ったときは低みに水が溜まって沼のようなどころができた。
- (畔木) 釣りだとウグイやアブラコがいた。
- (中谷) 昭和56年洪水の時は「木流し」※2を地域で行った。堤防近くの木を伐り、紐でしばって川に落とし、堤防を守った。
- (畔木) テトラポットでもあればいいけど土のうはあっという間に流れてしまうから。



JA木野（左から）畔木幸一さん（69） 中谷清さん（73）

- (中谷) 子どもの頃も記憶があるけど、みんな総出で大変な作業だった。それでも決壊したら大変と小さい頃から経験しているから「何とかしないと」と作業した。
- (畔木) 今は国や道が堤防の上を舗装してくれたり色々やってくれて、我々が木流しをやったのは昭和56年洪水以降はないね。

十勝川治水100年 記念事業特設サイト



※1『然別百年（然別地区開拓史）』然別地区開拓百年記念事業協賛会、平成元年発行

※2 急流部において流水を緩和し堤防や河岸が崩れるのを防ぐ工法

お楽しみクロスワードパズル

1	2	3	4	5
C				
6	7			
8			9	
		B		F
	10		11	
12			G	13
A	14	15		
16		E	D	

二重枠に入った文字を、A→Hの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

A	B	C	D	E	F	G

抽選で **5名様に** ハピオ商品券 2,000円分を贈呈致します。

【応募方法】
別紙の解答用紙に答えを記入し、企画振興課・ハピオサービスカウンターに設置しております応募BOXに投函して下さい。

【締め切り】 **2月29日(木)**

■ヨコのカギ

- 燃料などで使う気体。都市〇〇、プロパン〇〇。
- 白と杵で餅をつくこと。
- 育児・子育てをする男性を略して。
- レモンには〇〇〇〇Cが含まれている。
- モノやサービスが取引されその価値を計る尺度として、お〇〇が使われる。
- 〇〇〇〇は、梅雨を象徴する花としても有名な落葉低木。
- スポーツや武術などで勝負を争うこと。
- 板と板の間にはさまること。対立する二者の間に立ってどちらに付くこともできず、苦しむこと。
- 依頼を受けて法律事務を処理することを職務とする専門職。

■タテのカギ

- 大阪府の北摂三島地域に位置する市。万博記念公園や太陽の塔などがある。
- 丈夫で実用的な布地「木綿」で シャツやハンカチなどに用いられる。
- 珍しい光景。滅多にない光景を「〇百景」。
- ファイターズガールが踊る「〇〇ダンス」。
- 組合を組織している構成員。
- 美に対する意識が高いことを。
- 軟体動物の総称。はっきりとした〇〇殻を持つものの総称である。
- 船舶が着岸するために陸域部から水上へ向けて作った橋状の係留施設。
- 最近木野にできたデリバリーピザ屋「〇〇ピザ」。
- 他の語。ほかの言葉。

ス イ ハ ザ ー ド
オ シ ロ イ ツ
コ ウ ヨ ウ ズ ク
ウ リ ロ ウ
ボ ウ リ ン グ セ
ウ シ ン イ デ ン
フ ジ サ ン ス

《10月号の正解》
A B C D E F G H
イ ン ボ イ ス セ イ ド でした。

当選者
北進 本多紗由美さん 帯広 畠山三羊子さん
木野 渡辺 里奈さん 帯広 山口 恭平さん
北進 山田 明美さん

正解者の中から抽選により上記の方々当選されましたので、お手数ですが2月29日(木)までにハピオサービスカウンターで商品券をお受け取りください。



理事会の動き

(12月13日現在 正組合員147名 准組合員4,185名 合計4,332名)

第9回理事会

10/26

報告事項

- ・組合員の加入について
- ・組合員の出資増口について
- ・組合員の脱退について
- ・第2四半期 自由金利商品の受入状況並びに運用状況について
- ・第2四半期 生乳受託数量について
- ・第2四半期 事業実績及び決算見込みについて
- ・リース資産の取得について
- ・固定資産の取得について
- ・無印良品ハピオ木野 建物工事完了及び引き渡しについて

第10回理事会

11/29

報告事項

- ・組合員の加入について
- ・組合員の出資増口について
- ・組合員の脱退について
- ・マネロンガイドラインとのギャップ分析結果について
- ・令和5年度 JA共済コンプライアンス点検結果について
- ・令和4年産 共計玉葱の精算について
- ・資金借入金額の決定について
- ・令和5年度 決算見込みについて

提出議案

- ・理事と組合の契約(利益相反取引)について

- ・外部出資の増口について
- ・令和5年度 原油価格・物価高騰に係る営農資金円滑化対応について
- ・令和5年度 経営所得安定対策(数量払)にかかる仮渡金実施要領について
- ・規程の改正について
 - ・マネー・ロンダリング等および反社会的勢力等への対応に関する基本方針
 - ・マネー・ロンダリング等への対応に関する規程
 - ・特産物センター委託育苗取扱要領
- ・第2四半期 自治監査指摘事項処理頭末について

第11回理事会

12/19

報告事項

- ・組合員の加入について
- ・組合員の出資増口について
- ・組合員の脱退について
- ・各種共計の精算状況について
- ・令和5年産 共計大豆概算金の支払いについて
- ・経営安定対策の仮渡金報告について
- ・理事に対する資金の貸付に係る報告について
- ・特定組合員の報告について

提出議案

- ・理事と組合の契約(利益相反取引)について
- ・出資の減口について
- ・規程の改正(農事組合長の農協運営協力に関する規程)
- ・年末手当の支給率について

無印良品ハピオ木野オープン



11月8日に無印良品ハピオ木野がオープンしました。道東で唯一の単独店舗のオープンともあって、開店前には400人弱の列が新店舗を取り囲むようにできていました。店内は、柱や壁面に北海道産のスギやトドマツが使用されており、年輪を重ねた木材のあたたかみを感じられる広いつくりになっていました。休憩スペースには、道内で解体された倉庫の廃木材を再利用したベンチやチェアが設置され、衣料品・生活雑貨・食品と幅広く多くの商品を実際に手に触れてゆっくりとお買い物を楽しめる工夫が施されていました。また、オープンを記念してハピオの「ハピまん」の店頭販売や、木野の森珈琲店の店内試飲が8日から12日までの5日間行われ、たくさんの方に購入していただき大いに賑わいました。北海道の冬の厳しさに耐え抜いた木材とともに、ぬくもりのある店内の雰囲気を感じていただきたいと思います。

【住 所】

〒080-0301

北海道河東郡音更町木野大通西7丁目1-24

【営業時間】

10:00 ~ 20:00



新年明けましておめでとうございます。本年も皆様にとって健康で素晴らしい一年をお過ごしいただけますよう、心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年は農協だよりの発行に携わり、取材や写真撮影で多くの組合員の皆様とお会いすることができました。農作業中に突然ご連絡してお話を伺ったり、写真をお願いしたりとご迷惑をお掛けしてしまったかもしれませんが、その様な状況でも快くご対応いただき、ご協力ありがとうございました。右も左も分からない中で、組合員の皆様から農作物について教えていただいたり、初めて目にする作業を見学したりと学ぶことの多い1年でした。様々な場所に向き、たくさんの方にお目にかかれて、木野農協の職員として少しは成長できたように感じています。今後も、組合員の皆様に興味を持っていただける記事を掲載できるよう、日々の業務を通じていろんな場所に足を運びたいと考えておりますので、その際はぜひとも温かい目で見えていただければ幸いです。本年もよろしくお願いいたします。

企画振興課 林 敬貴

編集後記

きのの JA KINO

1 Jan. 2024
No.404



JA 木野

木野農業協同組合

河東郡音更町木野大通西6丁目1

TEL0155-31-2131 FAX31-2137

URL/<http://www.ja-kino.com>

E-mail/shinkou@ja-kino.nokyoren.or.jp

